

2024 年度 事業計画

新型コロナウイルスによるパンデミックが収束に向かう中、経済は緩やかな回復基調にあると言われてはいますが、日々の生活レベルにおいてはその実感は程遠いものです。

社会や経済はコロナ禍を契機に、企業では会社の在り方・働き方に至るまで、また情報技術の発達による伝達手段の進化は、驚異的変貌を遂げ大転換期を迎えています。個人レベルでの働き方改革に見られるように、企業や業種によっては日々の出勤率が30%に及ばなくとも企業運営には何ら支障を来していない実態にあります。この取り組みが今後どのように展開していくかは別として、社会的には一定の評価をされているといえます。

大都市圏の鉄道輸送人員が未だ回復していない事由の一つにこうした社会現象があるのも事実です。社会・経済の基幹産業としてその役割を果たしてきた鉄道事業は、今、まさにこの大転換期の真っ只中にいます。これまで遭遇した幾多の困難や問題を乗り越えて来た鉄道 150 年の歴史においても、地域情報やエリアマーケットのニーズを確実に取り入れ、あらゆるネットワークや情報を駆使して真摯に向き合い、その期待に応えるべく需要を喚起していく以外に選択肢は見当たりません。鉄道事業と軌を一にしている鉄道広告は、これまでの事業戦略や展開では立ちいかななくなってきています。この厳しい現状を認識し存亡の危機的状況を打開しない限り、鉄道広告は淘汰され衰退の一途を辿るばかりとなってしまいます。

諸問題の解決に向けて、覚悟を以て具体的取り組みを実行していくことが、今、必要です。例えば空き媒体が数年にわたって放置されていけば、それは社会から期待されていないということです。これまでの取り組みを抜本的に見直し、魅力ある媒体づくりと新規マーケットを開拓しつつ、他の媒体とは異なった独自の付加価値を提案し、果敢に挑戦していく事によってのみしか生き残る道はないように思います。当協会においても総力を挙げて空き媒体解消に向けた取り組みをしっかりと下支えし、支援していきたいと考えています。

2024 年度はこうした状況下、鉄道広告の持つ公益性と果たすべき役割をあらためて認識したうえで、会員の皆様方のご協力を得て次なる項目を重点課題として取り組んでいきます。

1. 広告価値の向上
2. 空き媒体の解消
3. 脱炭素社会への取り組み
4. 委員会活動のより一層の活性化
5. 新規会員の加入促進

具体的な各施策については次ページ以降のとおりですが、一つひとつの課題を着実に解決していくことでマーケットのニーズに応え、鉄道広告の復権そして再生させる新しい時代の始まりの年にしたいと考えています。

2024 年度事業計画

1. 各委員会の主な活動目標

(1) 総務・財務委員会

- ・ 新規会員の入会懇話
- ・ 支部活動活性化支援
- ・ 年次報告書の作成
- ・ 他広告団体との交流

(2) 倫理委員会

- ・ 倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・ 鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・ 鉄道利用マナーUP キャンペーン実施に向けた働きかけ
- ・ 広告倫理に関する事例研究の実施
- ・ 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

(3) 美観風致委員会

- ・ 環境委員会との共同による第 18 回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・ 美観風致に関する情報の収集

(4) 環境委員会

- ・ 出版・発行物の環境への配慮
- ・ 「JAFRA 環境方針」改訂に向けた取り組み
- ・ 美観風致委員会との共同による第 18 回地球温暖化防止キャンペーンの実施

(5) 安全委員会

- ・ 安全管理に関する調査研究の推進
- ・ 安全作業に関する教育研修の実施

(6) 標準化委員会

- ・ 2024 年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開

(7) 人材育成委員会

- ・ 「交通広告ビジネス概論 2023 別冊版」の発行
- ・ 鉄道広告実務研修の実施
- ・ セミナー、シンポジウムの開催

(8) 技術開発委員会

- ・ デジタルテクノロジー等を活用した交通広告の価値向上や価値訴求に資する効果的先進的な取り組み事例の収集、紹介
- ・ 交通広告が他媒体との競争力を維持し、連携を強化していくための、新技術を活用したメジャメントやプログラマティック DOOH 等の先進的な取り組み事例の収集、紹介

(9) 調査研究委員会

- ・ 効率的なメディアプランニングに関する研究の促進

- ・ e-販促データシステムの改良と利用者拡大に向けた取り組み
- ・ e-販促データシステム研修（活用方法、活用事例の紹介）

(10) 業務近代化委員会

- ・ 業務近代化に関する課題の提言
- ・ 働き方改革の検討
- ・ デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

(11) PR委員会

- ・ 「JAFRA NEWS」の編集・発行と掲載内容の充実化
- ・ JAFRA ホームページ改良による情報発信の強化
- ・ 鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
- ・ 関係する外部機関との連携強化

(12) アカウンタビリティ向上委員会

- ・ 標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
- ・ 関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
- ・ 交通広告共通指標策定システムの運用及びシステム利用会員の拡大

2. 各支部の主な活動目標

(1) 北海道支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
- ・ 媒体視察研修会の開催：11月
- ・ 交通広告勉強会の開催：12月
- ・ 新年懇親会の開催：2025年1月
- ・ 新規会員の入会懇話（以降各支部共通）
- ・ 第18回地球温暖化防止キャンペーンの実施（以降各支部共通）

(2) 東北支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
- ・ 支部セミナー等の開催：7月
- ・ 東日本鉄道仙台広告会との連携

(3) 首都圏支部

- ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
- ・ 支部セミナーの開催：7月、11月、2025年3月
- ・ 支部幹事会の開催：7月、2025年3月
- ・ 鉄道広告実務研修の実施：10月
- ・ 地域間交流の促進、交通媒体広告会との連携

(4) 中部支部

- ・ 支部総会・意見交換会の開催：7月
- ・ 支部セミナーの開催：2025年3月

- ・ 支部幹事会の開催：適宜開催
- (5) 近畿・中国・北陸支部
 - ・ 支部幹事会の開催：7月、2025年3月
 - ・ 支部総会・懇親会の開催：7月
 - ・ 支部セミナーの開催：7月
 - ・ 交通広告実務研修会の実施：9月
 - ・ 関西交通媒体社広告会、関係諸団体との連携

- (6) 四国支部
 - ・ 支部総会・懇親会の開催：6月
 - ・ 媒体視察研修会の開催：11月
 - ・ 支部講演会・意見交換会の開催：2025年2月

- (7) 九州支部
 - ・ 支部総会・懇親会の開催：8月
 - ・ 支部セミナーの開催：8月
 - ・ 支部運営会議の開催：6月、2025年3月
 - ・ 西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携

3. 今後の協会行事計画

- ・ 定期総会 2024年6月26日(水) ホテルメトロポリタン(池袋) 富士の間 A
- ・ セミナー " " 富士の間 CD
- ・ 懇親会 " " 桜の間
- ・ 理事会
 - 第1回 2024年5月23日(木) (株)ジェイアール東日本企画 会議室
 - 第2回 2024年12月10日(火) (株)ジェイアール東日本企画 会議室
 - 第3回 2025年3月6日(木) "
- ・ 広告界合同年賀会 2025年1月